

2010年

9月3日(金曜日) ふるさとをまるごと愛するまちづくり - 「峰山を愛する会」設立総会 -

峰山町に御鎮座されている金刀比羅神社様は、文化8年(1811年)に藩主 京極高備(たかまさ)公により、讃岐の金刀比羅宮より御分霊をお迎えになられ、いよいよ来年には、御鎮座200周年をお迎えになられます。この間、丹後の地を代表するお社の一つとして先人の皆さんから連綿と続く数知れない多く皆さんのご崇敬が捧げられ、代々にわたり住民の安全と発展をお導きいただき、明年の御慶賀を心からお祝い申し上げます。

このような中で、本日、「金刀比羅神社御鎮座200年を機に地域の核として祭礼を再生し、峰山に活力を取り戻す」ことを掲げられ、郷土・峰山を深く愛し、歴史文化を後世に継承し、発展を図ろうと、峰山の各界の皆さんが思いを一つにされて「峰山を愛する会」を設立されました。

私は、地域の将来の発展を展望するときに大切なことの一つに、自らの原点を大切にすることがあると思います。私たちや私たちの地域の今をつくっていただいている数え切れない多くの先人の皆さんの御恩やおかげの一つ一つに思いを寄せ、深い感謝を捧げていくこと。自ら自身が立脚する大切な礎に心から敬意や愛情を捧げていく中に初めて、将来の本物の繁栄へとつながる絆をいただけるのではないかと思いますし、また、既に足元にあふれている宝や恵みへの気づきに導いていただける視野もいただける、たくさんのプレゼントをそこから贈っていただけるのではないかと思います。

地域の発展を見守っていただいたお社の200年祭の機会に、200年をふり返り、さらなる地域の原点にも思いを寄せながら、郷土・峰山をまるごと愛していく。峰山を愛する会の皆さんが、まさにふるさとを本当に愛する核となられて、ふるさとからたくさんの宝が贈り届けられる、たくさんの繁栄の宝に恵まれる、本物のまちづくりを牽引していただけると信じています。ふるさとをまるごと愛する思いにあふれるまちづくりがますます広がっていきますよう、心から期待しています。